

刊夕日卅月一十



定価 一部全紙 五銭 全紙 五銭 五折紙 五銭
電話 五五二二 行金 五五折紙
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常磐毎日新聞社 文
印刷所 常磐毎日印刷株式会社
〒六三〇 常磐

救護法に就て

平町共済會委員 門傳清吾

第二 醫 療

醫療の方法を以て救護する事であるが、其被救護者は第一條、第四號に該當する者である、其方法は市町村長に於て適當なる醫師を指定して其醫師をして被救護者傷病者を治療せしむることになると思ふ、本縣社會課の説明に依れば多分縣知事と縣醫師會とが協定して各市、町、村の指定醫を決定するであらうとの事である。

第三 助 産

助産は第一條第三號妊産婦を産婆や醫師を以て救護する事である、即ち其方法は産婆及醫師を市、町、村長に於て前同様指定し置き必要に應じて救護する事になるが其費用は一人平均拾圓以内を以て支給する事になるであらう。

尤も傷病者の事であるから指定醫をして治療せしむるに遠隔地なる關係、又は旅行中のこと等の關係で長時間を要し爲めに急迫を要する場合には間に合はぬ事あるべく其場合は一時應急的に指定醫外の醫師を依頼して治療せしむることもあるであらう、右の場合に醫療費として支給する限度は一般の醫療費の半額位まで支給することを得るであらうとの事である、特定醫以外の醫師に依頼したる時は實費を支給する事であらう、必要ありて傷

第四 生業扶助

生業扶助は勞働能力に障害ある者に對し生業上の救護を爲すことを指すのである、然し全然其勞働能力無い者には生業扶助ある事はない何となれば全然勞働し得ない者に生業上の扶助を爲すも何等の意義を爲さないからであつて是等の者は生活補助の方で行ふべきであるからであると思ふ、其方法に於ては其被救護者の性格や經驗境遇等に應じて適當なる仕事を賦與するとか或は適當なる資本を貸與するとか、其他適當なる方法を以て救護す

ることになるであらう、其詳細は勸令を以て定めらるゝ事になつて居るから後日説明することにする救護の方法に關しては自宅救護收容救護の二種に分類することが出来る、自宅救護は第十一條に規定する處である即ち第十一條救護を受く可き者の居室に於て之を行ふとありて、救護は被救護者の自宅で行ふことを本則とする、之が救護法の理想である即ち可成救護を受くる者の家庭に於て其家庭氣分を失はしめず其者の境遇や、慣習や個性に重きを置きて之に適切なる個別的救護を與ふるを以て最も被救護者を完全にそして徹底的に救済し得て社會的にも効果多きが故である

カサコン今日も来たみち
小草は藍色に染まつて
秋は深くなつて行く様です

詩

小道

子

カサコンといつも通るみち
たゞ一つ赤い小草が有まし
た
カサコン今日も来たみち
小草は藍色に染まつて
秋は深くなつて行く様です

色づいて行く雑木と
一つにとけ込んで居る様な
西の空
×
カサコン歩く道

幸運なる自信を持つ
黄昏の小道を
×
日毎にカサコンと通る私です

移轉お知らせ

此度平町田町七十五番地
(元平町役場跡)に移
轉致しました。從來の通
り一般の診療に従事致し
ます。右お知らせまで。
昭和六年十一月廿九日

平町田町七十五番地

清水醫院

醫學士 清水廣政
電話二三八番

外務社員招聘

經驗の有無に不拘ず
奮闘家を望む
希望者は履歴書持參御來談を乞ふ
◎内職にても差支へなし
平町一丁目
代理店主幹 比佐信太郎

福 徳 生 命

度量衡、計量器、吸入
用酸素、酸素吸入器
關 内 藥 局
電話四〇番

お客様本位の

正確な時計

平町常盤屋時計店

好適の眼鏡

◎革靴自製部新設

注文靴 修繕靴
親切丁寧 請 合

●高級ゴム長靴 マルトモビル内
●五圓均一靴
●各種鞄類

菊地靴店
電話呼四三六番

冬服 衾心

紺色柄物... 三ッ揃... 拾貳圓
最新柄... 三ッ揃... 拾三圓五十錢
スコッチ... 三ッ揃... 拾六圓五十錢
最上紺黒... 三ッ揃... 拾九圓
高級品... 三ッ揃... 拾九圓

平町正札堂洋服店 電話四三六

月曜言論

悪分子の掃滅

石城民政黨の分裂は、その依つて起る禍根が久しきに胚胎し、遂に先年の代議士選挙に爆發するや、問題の裏面化と共に野崎、若松兩者間の暗闘は一層熾烈となつたが更に這般の縣議戦は火に油を注ぎたるが如く互ひに鎗を削つて意地づくの姿となり、高き障壁と深き溝渠は全く同黨を眞つ二つに分分して覆水盆に戻らずの喩へが今日の觀を爲すに至つた、然るに傳ふる處に依れば江名町の民政黨の團体たる商交會が此の分裂を苦々しと見て兩者の間を調停し打つて一丸と爲さんと近く懇親會を催す計劃があるとの事である、分裂を纏むるはよし、然れ共それには自から場合と方法を考慮に置く必要がある、野崎若松兩派の反噬が單なる感情の齟齬にのみとどまらざる今日、ただ逢つて盃を交はす懇親會の程度で雅量を示し元の鞘に納るべきものとは思はれない、ただ單に臭いものに蓋式に一時を隠蔽し破局を糊塗せんとするなればそれもよいであらう、がしかし兩者の蟻りは決して撤去し得べくもない故に此際不自然なる彌縫策等を施すよりは寧ろ一歩進んで黨内の悪分子掃滅を期する事が萬全の策であり、避生の途である、此の以外に民政黨結束の方途はない

平附近の地下堀進

悪影響ありや否や

磐城炭礦の礦區出願

本日大掛りで實地踏査

磐城炭礦の平町新川南の耕地より飯野村に至る地下の採掘出願に對し平町にては地殼に變動を與へる危険多しとて昨年十月二月仙臺監督局に不同意の上申書を提出して置いたが果して平町の市街に危険を生ぜしめ且つ耕地に悪影響あるや否やに就き實地踏査を爲す事となり監督局よりは安田技師及星崎、縣廳からは山林課の今井技師、耕地課の吉田技師、郡山農事試験分場、小林土木監督所長平署保安課員、夫れに磐城側から宮田技師、飯野村の

伊藤村長、平町の酒井助役等の一行が本日實地測量の土地質等に關し詳細調査する所あり明日平町役場に集合して大評定を 開き何れとも決定する事になつたが此の大掛りの實地踏査の結果は頗る注目されて居る

一二列車の運轉を休止

平郡山間の貨物が軟調

砲煙の中から

歩兵第廿九聯隊

十一月十八日昂々溪附近の戦闘に於て我が歩兵第廿九聯隊は敵の最も重要な三問屋に向つて攻撃を開始致しました。この戦闘に於て我が聯隊は左記六名の戦死者と上田一等軍醫以下二十四名の負傷者を出しました。この戦死傷者を見てこの

三問屋附近の戦闘は如何に激戦であつたかと思はれます。折柄の嚴寒零下三十度を示めし地上一面に樹枝には綿花をつけた如く戦線すら見る事が出来なかつたのです。而るに我が聯隊を始め第二師團は一舉に馬占山軍を粉碎し「チ、ハル」に入城致しました。

戦死者次の如し 第五中隊陣野原曹長、山崎上等兵、第一中隊鶴沼上等兵、下重上等兵、平一等卒、機關銃隊佐藤一等兵の六

忠魂碑修築

高久分會にて

石城郡高久村在郷分會では廿八日午後六時より同村役

場にて會長以下十七名の役員會を開き分會の事業として忠魂碑修築の爲め村内一戸より廿五錢見當の寄附を募る事に決定した

二割の減收

石城郡米收穫高

石城郡農會の調査發表に於て石城郡の今年度米收穫は十四萬七千石であるがこれを昨年の十七萬八千石と比較すると二割の減收となつてゐる

平木戸間を

富岡迄延長

常磐線二四九列車

來月一日より常磐線二百四十九列車は平木戸間を富岡まで延長運轉することになつた平發三時廿分、木戸發午後四時十三分龍田發四時二十一分、富岡着四時廿二分である

性源寺の新築は

一月頃になる見込

平町長橋町性源寺の新築工事は以前の設計と多少變更を生ずる點あり目下設計中である爲め工事入札は來

帝大産看試験

東北帝國大學醫科附屬病院に於て

動員を以て奉天城警備の重任につきまして軍隊總出動後の後顧の憂をなからしめました。其の眞剣さは内地に在つて見られない位でありました。

四、本夕七時〇五分第一回補充員たる十四名が内地より到着致しました。一同元氣旺盛で我が聯隊も一員でも多く戦線に立つ事が出来るのであります。必ずや亡き戦友の仇をとつて呉れる事と信じます

五、十一月六日大興附近の戦闘にて名譽の負傷者

名で即日各々階級一級を上せられる筈であります。二十日には六列車に互に弘前の混成第四旅團が來奉致し在留邦人の盛なる觀迎裡に奉天に下車致しました。廿一日には滿洲醫科大學前に於て本庄軍司令官に對し分列を行へ東北健兒の意氣を示めました。午後より奉天城警備の任につきました

醬油販賣價格

現狀維持

石城郡醬油醸造販賣組合總會は二十八日午後一時より谷口樓に於て開會、協議の結果販賣價格は現狀維持と爲し役員改選に移り組合長山崎與三郎氏、副會長坂本龜太郎氏と決定した

花澤氏の書

再び入選す

澤龍舟氏は上野公園東京美術館に開かるゝ泰東書道院主催書道展覽會に七言絶句を出品入選の榮を得た因に同氏は曩に第一回展にも入選し磐城書道會を主幹し門下の指導に當つて居る

養蠶實行賦課

實行組合は郡下各町村共極力その設立を奨励した結果現在では郡内に百三十二の多數に達したが是等組合に對し第一回の賦課金として百九十四圓六十錢を賦課する事になつたと

平町人事

回出生

△久保町 當時北海道土川郡和島村 鈴木巴之吉氏四女トク子 △材木町二六 綠川治藏氏二女喜久子

回婚姻

△東白川郡高野村字大梅 藤成庄之助(三五) 田町二鈴木シモ(二二)

自由廢業許されず

情夫服毒して自殺

女を主家より連れ出して 空家に隠した苦心も水泡

石城郡小名濱町下横町飲食店壽比壽屋事務藤ツルヨ方酌婦若松市祝町生れ鈴木タツミ(七)が廿七日平署に自由廢業を願出た事は既記の如くであるが其後取調への結果

同女には 石城郡磐崎村大字上湯長谷字力石生れ目下小名濱町元分に理髮業を営む益子實(三)と稱する情人あり本年春頃から情を通じ同人の胤を宿したが爲め益子はタツミと世帯を持たんと去る廿二日女を同町大敷網事務所

留守小屋 に隠し置き 食事を運んで五日間其所に過したが兩名牒し合せ廿八日タツミ獨り平署に自願願出たと判明飲食店の衣類等を持出した廉にて反つて署員から怪しと睨まれ自願も水泡に歸し主家へ連れ戻されたので此の事を聞いた益子はタツミと世帯を持つ希望を失つて世を悲感し廿八日午後七時半頃自宅に於いて理髮用

消毒薬の ホルマリン一合を嚥下苦悶中を家人に發見されたが同夜十時遂に絶命したと

平町役場に 寄贈品の山

相次ぐ義憤の結晶

平町田町金子重次氏は在満兵慰門として菓子二百箱を本日町役場へ届け出たが同く一丁目の鷹崎産婆看護婦學校全生徒よりの絹帯二百五十本清野看護婦會長より

石城郡小名濱町本町三五五人車周施業庄司ノ(三)さんは數年前夫と死別したが貯蓄數千金を有して子供もない處から全財産を國家有事の際に使用したいとの願望

平地方は昨日來寒氣が急に厳しくなり湯の岳連峰は白雪降り積り其の威容を整へた

平署留置場の珍劇……廿八日午後二時頃第一號留置場の辻強盜石城郡内郷村大字高坂生れ窃盜前科二犯草野儀(三)と

自轉車 泥餅人崔萬甫事木下一郎(三)の兩名は突然大格闘を演じ遂に草野は組み伏せられ悲鳴をあげた始末に係官が発見取調べる

老人の 柿下口捕る 生活に窮して 山形縣西村山郡木内村生れ

早 平鐵道關係は 七八割の見當

いよ一ケ年間の總決算も一ヶ月に迫つて暮れのあわただしさが増した

ガソリン賭博檢舉 石城郡小名濱町竹町鮮魚商小野定治郎(三)は廿八日午後五時頃築港の魚船内で同人外八名が車座となつてガソリンと稱する賭博を行つて居

清水醫院が 役場跡へ移轉 平町役場敷地を建物ぐるみ買収した醫學士清水廣政氏は先般來役場舊廳舎の模様

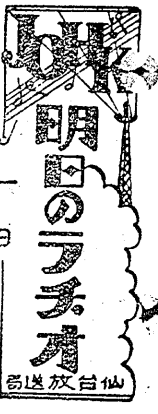
平撞球 平撞球アマチュア俱樂部部は廿九日午後一時より七十七銀行平支店樓上に於て競技會開催

赤井嶽の守札 石城郡内郷村磐城炭礦病院の看護婦安齊あさ子外卅四名は滿洲派遣軍のため勤務の余暇にネルシヤツ百枚をつくりまた赤井嶽醫師の守札と共に廿七日村役場を通じ寄附した

今晩の部 後六、〇〇(子供の時間) お話陸軍の組織に就て 第二師團參謀陸軍歩兵中佐 天谷直次郎

明日の部 前九、〇〇料理献立 一「牡蠣の鎌倉和へ」外一中村康子

平職業紹介所便り 求人部 雑夫 廿五才以下 住込月十圓内外(江名町海産物商)



明日の天気

今晩も明日も北西風の風晴れたり曇つたり

求職の部 雑夫 廿六才 高卒(舊城跡) 鐵工 十六歳 高卒(好間村) 自轉車職人 廿一歳 高卒(好間村) 自動車助手 十五歳 高卒(湯本町)

小説 七五七

(九十七)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫



【載轉禁】

謎の人 (7)
「あら、大きな真珠の入つたあれですか、まあ嬉しい事、え、あの指輪を戴けるならどんな御用でも致しますわ」
かくして二人は、別荘に戻つた、間もなく郁子の手から一ツの文箱が出た
お竹はそれを持つて表の番小屋に入つた、そして儀平を呼び出した。
「ちよいと爺さんや」
とお竹は沓脱に立つたなり儀平を呼び出して、
「お前さん、お氣の毒だけれどもね、頼まれて頂戴なえ、大した事ぢやないの」と帛紗の内から文箱を出した

「野毛坂まで、ハイ、ハイ」
「御返事を頂いて来るのよ、そうしてその御返事を私に渡して下さいな、私此の先の階樂園に居るから」
「な、何んでがすつて」
儀平は不審そうに言つた
「一體それはどなたの用かね、お前さまのか、奥さまのか」
「誰れの用たつてい、い、い、ないの、そんな事」
「然うはいかねえ、奥様の用なら奉公人の事ですが、奥さまの御用なら、遠背は出来ぬが、お

「然けい、奥様の用なら、その返辭をちかにお様へ差上げて然る可だのに、皆樂園にゐる自分の處へ持つて来いと云ふのは、一体どんな理窟だね」
「それがさ、爺さん、實の處私に吩咐つた用なんだけれども、私だつて生きて居る人間でせう。さう、無制限にこき使はれちや堪りやしないわよ、此の頃は労働問題がやかましくなつて、働いての勤務時間もぐつと短縮されて、工場の器械だつて八時間以上は動さない位の世の中じやありませんんべい、随分我慢勝手な人だね」
「でもさ、其處がお頼みなんじあありませんか、私ね借樂園に待つてる人があつて、其處に行かなければならないの、正直一寸の間も惜んだよ、だからお前さんに變つて貰つてその返事を取つて私の手から差し上げるやうにしてさ、奥様の御機嫌をそこねないやうにすれば大變都合がいいから、どうぞ私を助けると思つて今日の處は云つて下さいな、お頼みますよ爺さん」
「そんな勝手な話があるけえ、お前さんの都合はよかんべい、此の都合が悪い、ちやうど是れから畑に肥料をやらなければならぬ」

「しくつてお話にならなからなア」
儀平はこの前顔にさつて堪らなかつた女だけに、づけづけと言つた、
「あら、あんなことを……」
爺さんを睨み付けて
「私の用じやあないのよ、奥さまの御用なんだ」

装新のルパンコ

3階には西洋間が出来ました。
2階は宴會のホールと日本間。
1階の食堂は廣くなりました。

洋食茶會 洋喫宴會
電六六六番
平驛前通

舊倍の御引立を偏に御願申ます

難波醫院

平町新川町
【釜屋新宅向】
電話五〇二番

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

川崎巡 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書奉呈)

根本時計店

無料検査
各眼科院御用

開店

皆様！ 新たに時計店が出来ました。御客様の御満足をもつとして御務め致します。何卒幾久しゅう御引立の程御願ひ申し上げます。

◎閉店御披露の爲め 十二月十五日まで實用優良品を市價二割引の特別奉仕値段を以て提供致します。

◎修理は弊店の最も得意とする處です。若し御工合の悪い御時計でも御座いましたら精々御遣しを願ひます。

確實な品を安く修理は 叮嚀……正確……迅速

白寶堂時計店

平新川町見橋驛

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院

福島縣平町白銀町九 關口悦子

産婆 關口悦子

特卸治療部

表價定

金拾參圓 藥及特效サツ五週間分付 上製桐箱入一揃

金拾圓 藥及特效サツ五週間分付 上製桐箱入一揃 (説明書呈)

外科 X 光線科

外性病科

平町田町 安齊外科醫院
電話四七五番

意隨院入

新築移轉

内科 小科 兒科 花柳科 科病科

院醫吹矢

古鍛冶町縣社通
電六六六番

木村科醫院

平町五丁目橋際
電話三〇九